

(仮称)小柴貯油施設跡地公園整備計画
環境影響評価方法書に関する指摘事項等一覧

■事業計画について

項目	指摘、質問事項等	事業者の説明等	取り扱い
事業計画	「つながりの森」「連続性に配慮した環境整備」「歴史と景観のつながり」とは、具体的にどのような計画なのか、詳しい説明をお願いします。[1/16 審査会]	次回、資料をつけて説明します。[1/16 審査会]	補足資料 1 を用いて説明済[1/27 審査会]
	歴史と環境のつながりについて、具体的に説明してください。[1/27 審査会]	旧海岸線が歴史的・景観的な資産であり、貯油施設があったという過去を踏まえて整備することを検討していきます。[1/27 審査会]	説明済[1/27 審査会]
	計画地を緑地として残すことが、つながりの森構想の一環なのですか？[1/27 審査会]	b プラン（生物多様性横浜行動計画）やつながりの森に掲げている施策を本事業の中で取り組みます。[1/27 審査会]	説明済[1/27 審査会]
	つながりの森構想では、計画地を周辺の緑地とのつながりの一部として永続的に残していくのですか？[1/27 審査会]	今ある緑を保全したうえで、開港 150 周年記念植樹の苗木を植えるなど緑の空間を保全再生します。[1/27 審査会]	説明済[1/27 審査会]
	近隣の離れている緑地にも、つなげていく計画はないのですか？[1/27 審査会]	物理的に連続した状態は難しいが、周辺に保全すべき緑地があれば連続性の担保にすることを検討します。[1/27 審査会]	説明済[1/27 審査会]
	つながりの森の資料に「森と海に抱かれた自然体験空間」とありますが、海との関係をどう考えているのですか？[1/27 審査会]	海を意識して、旧海岸線の緑を保全していくことではないかと考えています。[1/27 審査会]	説明済[1/27 審査会]
	旧海岸線の崖の有意義な提供の仕方を考えてほしいと思います。[1/27 審査会]	安全性を考慮したうえで、崖地の活かし方について検討します。[1/27 審査会]	説明済[1/27 審査会]
	計画地を、アメリカと戦争し、占領・接収された歴史を残す場所にしてほしいと思います。[1/27 審査会]	検討します。[1/27 審査会]	説明済[1/27 審査会]

■事業計画について

事業計画	広域避難場所としての機能への配慮はなされているのですか？ [1/16 審査会]	今後、市民意見を踏まえつつ、防災部局と調整をしながら、防災対策を持つ公園として計画します。また、準備書以降の図書に記載します。 [1/16 審査会]	説明済[1/16 審査会]
	自転車利用について、公園へのアクセス手段や園内の交通手段として用いる場合が想定されるが、どう考えているのですか？ [1/16 審査会]	アクセス手段としての利用を促進するため、必要な駐輪場を整備します。園内利用は想定していませんが、広い公園で高低差もあるため、園内の移動手段について、検討します。 [1/16 審査会]	説明済[1/16 審査会]
	駐輪場は、複数設置することが望ましい。[1/16 審査会]	了解しました。 [1/16 審査会]	説明済[1/16 審査会]
	環境学習などの施設の運営について、うまく機能するように配慮してほしい。[1/27 審査会]	配慮します。 [2/10 審査会]	回答済[2/10 審査会]
施工計画	既存道路の補修といった準備工は、今回の環境影響評価での工事中の予測に入っているのですか？ [1/16 審査会]	入っています。 [1/16 審査会]	説明済[1/16 審査会]
	上下水道は、どの段階から工事を行うのですか？[1/16 審査会]	これから設計を進めていく中で検討します。 [1/16 審査会]	説明済[1/16 審査会]
その他	旧日本軍や米軍が貯蔵基地として使っていた時の状況を示す基本的な資料はないのですか？ [1/16 審査会]	確認します。[1/16 審査会]	補足資料 2 を用いて説明済[1/27 審査会]
	昭和 5 3 年に地下タンクを 1 基移設したとあるが、方法書の記載と異なるのではないのですか？ [1/27 審査会]	建設途中で埋戻しになった 3 基のタンクは確認していますが、それが指摘のタンクなのか確認します。 [1/27 審査会]	補足資料 4 を用いて説明済[2/10 審査会]
	昭和 5 6 年のタンクの爆発による周囲の影響はなかったのですか？土壌や水系などに影響を及ぼしたのではないのですか？ [1/27 審査会]	当時は影響があったと思いますが、国の土壌汚染調査は現状を踏まえていると考えています。 [1/27 審査会]	説明済[1/27 審査会]
	ヒートアイランドの軽減効果も期待できる緑地であるため、熱環境的な面からのこの公園の重要性を準備書以降の図書に記述してください。[1/16 審査会]		準備書に記載

この資料は審査会用に作成したものです。審査の過程で変更されることもありますので、取扱にご注意願います。

■事業計画について

その他	歴史的遺物として残したタンクを取り壊す時の土壌への影響などについては、今回のアセスの対象にしないのですか？ [2/10 審査会]	現在詳細な調査を実施中で、その結果を踏まえて判断しますが、タンクを途中で壊すことは想定しておらず、アセスの対象にしません。 [2/10 審査会]	説明済[2/10 審査会]
	タンクの保全計画はたてているのですか？ [2/10 審査会]	これから保全計画を策定したうえで、活用していきます。 [2/10 審査会]	説明済[2/10 審査会]
	クリーニングの状態が良くないタンクがあった場合、これからクリーニングを行うと、新たな土壌汚染の可能性があると思うが、その点については、いつどのように環境影響評価を行うのですか？ [2/10 審査会]		補足資料8 [2/24 審査会]
	盛土・切土の具体的な断面図があるのなら、出してほしい。 [2/10 審査会]		補足資料9 [2/24 審査会]

■地域の概況及び地域特性について

項目	指摘、質問事項等	事業者側の説明等	取り扱い
水循環	方法書対象地域内で、計画地の外側に井戸などはないのですか？ [1/16 審査会]	次回、資料をつけて説明します。 [1/16 審査会]	補足資料3を用いて説明済[1/27 審査会]

■環境影響評価項目について

項目	指摘、質問事項等	事業者側の説明等	取り扱い
評価項目 全般	工事時期が3つのエリアごとに分かれるため、工事が終わったエリアから順に供用時の予測を行うのですか？ [1/16 審査会]	次回、資料をつけて説明します。 [1/16 審査会]	補足資料5を用いて説明[2/10 審査会]
	補足資料5の大気質のところの※印の一文をもう少し分かりやすくしてほしい。 [2/10 審査会]	分かりやすくします。 [2/10 審査会]	補足資料10 [2/24 審査会]
	予測時期についての説明をもう少し分かりやすくしてほしい。 [2/10 審査会]		
	工事を3つのエリアに分けて行うが、工事中の予測については、それぞれのエリアで最も影響が大きい時を想定しているのですか？ [1/16 審査会]	個々のエリアでの、工事の影響が最大の時期ということで、検討していきます。 [1/16 審査会]	説明済[1/16 審査会]
	環境影響評価を進めるに当たり、ネガティブチェックの方法ではなくて、ポジティブな考え方で事業を進めてください。 [1/16 審査会]	ポジティブな考え方で、環境影響評価を実施していきます。 [1/16 審査会]	説明済[1/16 審査会]

■環境影響評価項目について

温室効果ガス	盛土面積が大きく工期も長いので、建設機械の排出する温室効果ガスは少なくないと思われるが、評価項目に加えなくてもいいのですか？ [1/27 審査会]	CO ₂ 発生量を試算して、項目選定するか検討します。 [1/27 審査会]	補足資料 11 [2/24 審査会]
生物多様性	供用時の予測時期が、事業活動が平常状態になり新たな環境が作り出された時期とあるが、どの状態なのですか？ [1/16 審査会]	植物が成長し、環境の変化が大きくなる状況と考えています。 [1/16 審査会]	説明済 [1/16 審査会]
	供用中と工事中のエリアが近接して存在している場合、供用中のエリアでは調査は行わないのですか？ [1/16 審査会]	近接していて影響があると考えられるので、調査等検討していきます。 [1/16 審査会]	説明済 [1/16 審査会]
水循環			
廃棄物・建設発生土			
大気質	一般環境大気質の測定地点の選定理由を教えてください。 [1/16 審査会]	計画地中央で、標高の高い位置であることです。 [1/16 審査会]	説明済 [1/16 審査会]
水質・底質	底質の意味は、湧水や水路にある土壌を意味しているのですか？ [1/16 審査会]	水路の底にある土壌の底質は、予測範囲に入っていませんが、必要であれば検討します。 [1/16 審査会]	説明済 [1/16 審査会]
	土壌汚染調査との関係を整理してください。 [1/16 審査会]	次回、説明します。 [1/16 審査会]	補足資料 6 を用いて説明済 [2/10 審査会]
	地下水の水質を調べる地点は、3か所で十分なのですか？ほかの場所で調査・予測を行わなくても問題はないのですか？ [1/16 審査会]	3か所が流況を代表している場所であるか確認させていただき、その上で判断したいと思います。 [1/16 審査会]	次回以降に補足資料説明
	水質の調査予測地点に付近の井戸を加える必要はないのですか？ [1/27 審査会]	流況を把握したうえで、追加するか検討します。 [1/27 審査会]	
	周辺の井戸が災害時利用されることから、周辺地下水の汚染状況の調査地点は設定しなくてもよいのですか？ [1/27 審査会]	井戸の議論とあわせて検討します。 [1/27 審査会]	
	地下水の調査地点 3 箇所が、鉛の検出された 5 箇所の流下先なのかを含めた上で説明してほしい [2/10 審査会]	国が土壌汚染対策法の手続を進めており、それと合わせて説明します。 [2/10 審査会]	

■環境影響評価項目について

土壌	土対法の基準を超えている地点は土壌入替などを行う必要があるが、予測手法の土壌汚染対策工事計画に含まれていると考えてよいのですか？ [1/16 審査会]	含まれています。 [1/27 審査会]	回答済 [1/27 審査会]
	ベンゼン、鉛といった有害物質が何から由来しているのか図書に記載すべきではないですか？ [1/27 審査会]	具体的な考察を加えたいと思います。 [1/27 審査会]	補足資料7を用いて説明済 [2/10 審査会]
騒音	供用後、遊ぶ子供たちの声が騒音になるのではないですか？環境騒音の予測として行わなくてもよいのですか？ [1/16 審査会]	周辺の住民の理解を得ながら計画していきますが、子供の声の予測は難しいと考えています。 [1/16 審査会]	説明済 [1/16 審査会]
振動			
安全	海食崖は保全に執着せず、安全性を最優先に配慮すべきと考えます。 [1/27 審査会]		
	供用時の予測の時期について、斜面崩壊の問題では全工区工事完了後ではなく、それぞれの工事を行った後に実施しなくても問題はないのでしょうか？ [2/10 審査会]	将来的に安全かどうかの調査を行い、必要な保全対策を立てた上で、工事施工中から供用時までの安全性を確認していきます。 [2/10 審査会]	説明済 [2/10 審査会]
地域社会			
景観			